



FIA International Rally

2025 年全日本ラリー選手権第 6 戦

RALLY HOKKAIDO

特別規則書

Ver.2.3

目次

1. プログラム
2. 概要及び組織
3. 参加申し込み
4. レッキ
5. タイヤ
6. 参加車両及び安全装置
7. 広告及びラリープレート
8. 燃料
9. 参加確認および書類検査
10. 公式車両検査・マーキング及びシーリング
11. ラリーの進行
12. 車両の整備作業
13. 賞典
14. 再車検及び抗議
15. 選手権外オープンクラス
16. その他
17. 本規則の解釈

細則 1 アイテナリー

細則 2 レッキスケジュール

細則 3 CRO の氏名及び行動予定

細則 4 HQ レイアウト

細則 5 スタートシグナル

細則 6 ゼッケンおよび広告、識別

細則 7 スーパースペシャルステージ

細則 8 サービス

公 示

FIA International Rally / 2025 年 JAF 全日本ラリー選手権第 6 戦「RALLY HOKKAIDO」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに FIA 国際モータースポーツ競技規則およびその付則、2025 年 FIA 地域ラリー競技規則、FIA 規則に準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則およびその細則、2025 年日本ラリー選手権規定、2025 年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定、2025 年 XCR スプリントカップ北海道シリーズ規定および本競技会特別規則に従い、国際競技及び国内競技として開催される。

1. プログラム

エントリー受付開始	2025 年 7 月 5 日(土)	10 時 00 分
メディア登録受付開始	2025 年 7 月 14 日(月)	申込先 : http://jgr.jp/media
エントリー受付締切日	2025 年 7 月 23 日(水)	18 時 00 分
メディア登録締切日	2025 年 8 月 12 日(火)	http://jgr.jp/media
ロードブックおよびルートマップの発行	2025 年 8 月 31 日(日)	10 時 00 分
各チームへのサービスパークオープン	2025 年 9 月 3 日(水)	12 時 00 分
ラリーHQ 開設時間		
	2025 年 9 月 3 日(水)	16 時 00 分～19 時 00 分
	2025 年 9 月 4 日(木)	07 時 30 分～19 時 00 分
	2025 年 9 月 5 日(金)	07 時 30 分～19 時 00 分
	2025 年 9 月 6 日(土)	05 時 30 分～21 時 00 分
	2025 年 9 月 7 日(日)	06 時 30 分～16 時 20 分
メディアセンター開設時間		
	2025 年 9 月 3 日(水)	16 時 00 分～19 時 00 分
	2025 年 9 月 4 日(木)	07 時 30 分～18 時 00 分
	2025 年 9 月 5 日(金)	08 時 30 分～18 時 00 分
	2025 年 9 月 6 日(土)	07 時 00 分～20 時 00 分
	2025 年 9 月 7 日(日)	07 時 00 分～16 時 20 分
サービスパークアクセス時間		
	2025 年 9 月 3 日(水)	12 時 00 分～19 時 00 分
	2025 年 9 月 4 日(木)	07 時 30 分～20 時 00 分（ウェルカムパーティー参加者はパーティー終了まで滞在可。ただし 20 時以降のサービスエリア内での作業は認めない。）
	2025 年 9 月 5 日(金)	07 時 30 分～19 時 00 分
	2025 年 9 月 6 日(土)	05 時 00 分～21 時 00 分
	2025 年 9 月 7 日(日)	06 時 00 分～17 時 00 分
	* 北愛国サービスパークの夜間警備は 9 月 4 日(木)20 時～9 月 7 日(日)06 時まで行われます。	
公式掲示板設置		
	場所: ラリーHQ（北愛国交流広場）	
	日時: 2025 年 9 月 3 日(水) 16 時 00 分～	
レッキ受付、参加確認 A、書類検査及びサービス受付（参加確認 A を行った場合も、必ず 5 日(金)に行う参加確認 B を受ける事）		
	場所: 北愛国サービスパーク（北愛国交流広場）	
	日時: 2025 年 9 月 3 日(水) 16 時 00 分～18 時 30 分	
	2025 年 9 月 4 日(木) 07 時 30 分～08 時 30 分	

車検スケジュールの公示

場所: 公式掲示板(ラリーHQ)

日時: 2025年9月4日(木) 07時30分

参加確認 B (参加確認 B は全チームが受けなければならない)

場所: 北愛国サービスパーク (北愛国交流広場)

日時: 2025年9月5日(金) 11時00分~12時00分

レッキ

日時: 2025年9月4日(木) 09時10分~18時20分

レッキスケジュールは、付則2を参照のこと

公式車両検査・マーキング・シーリング

場所: 北愛国サービスパーク(北愛国交流広場) 公式車検場

日時: 2025年9月5日(金) 08時00分~13時30分

第1回審査委員会

場所: 審査委員会室 (北愛国交流広場)

日時: 2025年9月5日(金) 13時45分~

Leg1 スタートリストの公示

場所: 公式掲示板 (ラリーHQ)

日時: 2025年9月5日(金) 14時30分

ラリーショー

場所: 帯広市西2条南11丁目 駅北多目的広場および平原通り

日時: 2025年9月5日(金) 15時15分~15時55分

開会式およびセレモニアルスタート

場所: 帯広市西2条南11丁目 駅北多目的広場および平原通り

日時: 2025年9月5日(金) 16時10分~

ラリースタート

場所: 北愛国サービスパーク

日時: 2025年9月6日(土) 06時00分~

リスタート(再出走)の締切

リスタートする場合に申請は不要であり、リタイヤ届を提出していないコンペティターは全てリスタートするものとして扱われる。しかし、書面でなくてもかまわないので、リスタートの意志は大会事務局に連絡すること。

リスタートするコンペティターは9月6日(土)の21:02まで又は9月7日(日)の06:00~06:30に車両の再検査を受けなければならない。また、再検査に合格した後、当該車両をLeg2の先頭号車スタートの30分前までにパルクフェルメに持ち込まなければならない。

Leg2 スタートリストの公示

場所: 公式掲示板 (ラリーHQ)

日時: 2025年9月6日(土) 19時00分

ラリーフィニッシュ及び暫定表彰式

場所: 北愛国サービスパーク

日時: (国際クラス) 2025年9月7日(日) 13時27分~

日時: (全日本クラス) 2025年9月7日(日) 14時17分~

再車検

場所: 北愛国サービスパーク

日時: (国際クラス) 2025年9月7日(日) 13時50分~

日時: (全日本クラス) 2025年9月7日(日) 14時40分～

暫定結果の公示

場所: 公式掲示板 (ラリーHQ)

日時: (国際クラス) 2025年9月7日(日) 14時50分(予定)

日時: (全日本クラス) 2025年9月7日(日) 15時40分(予定)

2. 概要及び組織

2.1 競技会の名称

FIA International Rally

2025年 JAF 全日本ラリー選手権第6戦

「RALLY HOKKAIDO」

2.2 競技の格式

国際格式: FIA International Rally クラス

国内格式: 2025年 JAF 全日本ラリー選手権クラス、オープンクラス

JAF 公認番号: 2025年第0019号

2.3 競技種目

FIA 地域ラリー競技規則ならびに JAF 国内競技規則、ラリー競技開催規定細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

2.4 開催日程及び開催場所

日程: 2025年9月5日(金)～7日(日)の3日間

場所: 北海道十勝地方

ラリースタート: 北愛国サービスパーク (北愛国交流広場)

ラリーフィニッシュ: 北愛国サービスパーク (北愛国交流広場)

2.5 ラリー北海道大会本部

・大会前

ラリー北海道大会事務局

住所: 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19丁目南 4-9

TEL: 011-864-2003

FAX: 011-864-1182

・大会開催中 [9月3日(水曜日)～7日(日曜日)]

ラリーHQ

場所: 北愛国交流広場

住所: 〒089-1181 北海道帯広市愛国町 10-1

TEL: TBA

FAX: TBA

2.6 コース概要

スペシャルステージの路面はグラベル(95%)一部ターマック(5%)

LEG1: グラベル 83.78km、ターマック 5.58km

LEG2: グラベル 13.24km、ターマック 0km

総走行距離: 632.32km

スペシャルステージの総走行距離: 102.60km

スペシャルステージの数:	12
セクションの数:	4
レグの数	2

2.7 オーガナイザー(主催者)

名称: AG.メンバーズスポーツクラブ北海道(JAF 公認クラブ No.01001)
 所在地: 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル
 代表: 田畑 邦博
 事務局長: 小池 治郎
 TEL: 011-864-2003 FAX: 011-864-1182
 E-mail: info@rally-hokkaido.com Website: www.rally-hokkaido.com

2.8 大会組織

大会組織委員会

組織委員長	田畑 邦博
副組織委員長	槇田 龍史
組織委員	坂 昭彦
組織委員	米澤 章
組織委員	小池 治郎

競技会審査委員会

・国際

競技会審査委員長	藤原 篤志
競技会審査委員	宮城 孝仁

・全日本ラリー選手権

競技会審査委員長	宮城 孝仁 (JAF 派遣)
競技会審査委員	村瀬 晴信 (JAF 派遣)
競技会審査委員	藤原 篤志 (組織委員会任命)

JAF オブザーバー	船越 潤
JAF オブザーバー	後藤 茂行
JAF 技術アドバイザー	杉村 卓哉

競技役員

競技長(COC)	槇田 龍史
副競技長(D.COC)	坂 昭彦
コース委員長	若松 勝仁
計時委員長	永井 真
技術委員長	石川 和男
救急委員長	米澤 章
医師団長	野田 健
メディアオフィサー	河野 功
リグリーブコーディネーター	西尾 雄一
競技会事務局長	小池 治郎
セクレタリー	新井野美恵子

選手リレーション役員

コンペティターズ・リレーションズ・オフィサー(CRO)

3. 参加申し込み

3.1 参加申込受付期間

エントリー受付開始:	2025年7月 5日(土) 10時00分
エントリー受付締切日:	2025年7月23日(水) 18時00分

3.2 参加申込方法

ラリー北海道に参加を希望する場合（レッキのみの参加を含む）は、参加申込書に正しく記入し、Eメールまたは郵送にて、参加料の振り込みの証明を添えて2025年7月23日(水) 18時00分までに大会事務局宛に到着のこと。

（レッキのみ参加の場合、競技長の承認が必要となる。参加申込の前に大会事務局に連絡する事。）

ラリー北海道大会事務局

〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル

TEL: 011-864-2003

FAX: 011-864-1182

E-mail: entry@rally-hokkaido.com

Website: www.rally-hokkaido.com

参加申込書を E メールで送付する場合、署名入りの原本は参加確認受付終了までに提出しなければならない。

参加申込に必要な書類

1. エントリーフォーム
2. エントリーブックレット
3. 自動車検査証の写し（電子車検査の場合、「自動車検査証記録事項」の写しも提出すること）
4. ドライバーおよびコ・ドライバーの競技ライセンスと運転免許証の写し
5. ラリー競技に有効な自動車保険(任意保険)の写し(対人・対物の金額がわかるもの)
6. ラリー競技に有効な搭乗者保険の写し
7. ドライバー、コ・ドライバーの胸から上の顔写真、参加車両の画像
（レッキのみ参加の場合7. は不要。）

3.2.1 エントリー料金

国際クラス	240,000 円（税込み）
全日本選手権クラス(JN-1)	260,000 円（税込み）
全日本選手権クラス(JN-2～JN-4)	230,000 円（税込み）
全日本選手権クラス(JN-5, JN-X)	220,000 円（税込み）
オープンクラス（XCR クラス含む）	200,000 円（税込み）

（全クラス、オーガナイザーのオプション広告を拒否する場合、追加料金 110,000 円（税込み）を課す）

レッキのみ参加 66,000 円(税込み)

（レッキのみ参加の場合、競技長の承認が必要となる。参加申込の前に大会事務局に相談する事。）

3.2.2 追加料金

追加サービススペース(北愛国：5x7.5m)	34,100 円（税込み）
------------------------	---------------

補助車両通行証	11,000 円 (税込み)
サービスクルーパス	6,600 円 (税込み)

3.2.3 エントリー費に含まれるもの

- ロードブック x1 ● 公式プログラム x1 ● 競技車両用ゼッケンセット x1
- 競技者パス x2 ● サービスクルーパス x4 ● サービス車両通行証 x2
- サービスパークスペース 7.5x5m ● レッキセット(レッキ指示書等)x1
- ウルト ドライバーズキット x1
(レッキのみ参加の場合)
- ロードブック x1 ● 公式プログラム x1
- サービスパークスペース 7.5x5m ● レッキセット(レッキ指示書等)x1

3.2.4 エントリー料金の支払方法

エントリー料金は、以下の預金口座に銀行振込によって支払うこと

3.2.2 条の追加料金や物品レンタル・注文の料金も 3.1 条の期間内に支払う事。

銀行名: 北海道銀行
支店名: 流通センター前支店
口座番号: 普通預金 1064661
口座名義: ラリー北海道大会組織委員会

3.2.5 エントリー料金の返金

エントリー料金は次の場合、事務手数料として 2,000 円を差し引き、参加費用を返金する。

- (a) エントリーが受理されなかった場合。
- (b) ラリーが開催されなかった場合。

3.3 保険

国際クラスおよび全日本選手権クラスに参加の場合は、ラリー競技に有効な 1000 万円以上の対人賠償保険、200 万円以上の対物保険および 1000 万円以上の搭乗者保険（または共済等）に加入していること。

オープンクラスに参加の場合は、ラリー競技に有効な対人賠償保険、対物賠償保険および搭乗者保険（または共済等）に加入していること。

3.4 参加台数

参加台数の上限は、国際クラスを含め 90 台とする。

オーガナイザーは、国際モータースポーツ競技規則 3.14 条および国内競技規則 4-19 に従って、エントリーを拒否する場合がある。

3.5 クラス区分

国際クラス：

参加可能な車両は 2025 年 FIA 地域ラリー競技規則 12 条及び 2025 年 FIA 地域ラリー競技規則 V4(APRC)の 12 条に適合する車両であり、車両クラスは 2025 年 FIA 地域ラリー競技規則 12.1 条に示される。また、2025 年 FIA 地域ラリー競技規則 12.3 条および同規則 V4(APRC)12.3 条に示される、ASN(JAF)により承認を受けた車両も参加する事ができる。

なお、燃料タンクに関しては、当該車両に対するメーカー純正燃料タンクの使用も認められる。

全日本選手権クラス：

2025 年日本ラリー選手権規定第 8 条「クラス区分」に従って区分される。

オープンクラス：

本規則書第 15 条に示す。

3.6 クルーおよび参加車両の変更

3.6.1 正式参加受理後のクルーの変更は認められない。ただしコ・ドライバーおよび参加車両については、参加者から参加確認受付終了あるいはレッキ受付終了（いずれか早い方）までに理由を付した文書が提出され、競技会審査委員会がやむを得ない理由であるとして、その変更を認めた場合はこの限りではない。

この承認を受けるまでは、変更後に参加が予定されるコ・ドライバーおよび車両でのレッキ等への参加や車両検査を受けるなどの大会への参加は認められない。

また、この承認以降は当初のコ・ドライバーおよび車両は以後当該競技会への参加は認められない。競技長は、競技に参加せず、レッキのみへの参加を認めることがある。この場合は車両 1 台、クルー 2 名を 1 単位として、競技長が定める期限までに書面にて申請を行い、承認を受けなければならない。

また、やむを得ない理由により正式参加受理されたコ・ドライバーがレッキに参加できない場合、クルーの変更と同様の手続きによりレッキのみを行う代理のコ・ドライバーの申請を行うことができるが、競技会審査委員会が認めた場合に限り本措置が適用される。これは例外的な救済措置であり、参加受理された以外のコ・ドライバーをレッキに参加させることを主たる目的として濫用してはならない。

レッキのみへの参加を認められたクルーは、大会に適用される規則のうち、レッキに関する全ての条項に従わなければならない。違反した場合には競技長または競技会審査委員会により罰則が科せられる場合がある。

3.6.2 参加クラスの変更を伴う参加車両の変更は認められない。

4. レッキ

4.1 レッキ受付手続き

レッキに参加する全ての参加者はレッキ開始の前にレッキ車両を登録しなければならない。レッキ受付の際、クルーまたはチーム員はレッキサインカード及び車両識別カードを受取ること。

4.2 スケジュール

レッキスケジュールの詳細については細則 2 に従うこと。

4.3 クルーの厳守事項

4.3.1 各クルーは、レッキの間、左のリアサイドウィンドウまたはその付近に車両識別カード(パス)を貼付しなければならない。このパスは各スペシャルステージにおいて 2 回通過するのに有効であり、レッキ用車両に常に貼付したままでなければならない。また、各スペシャルステージのスタートのオフィシャルによるチェックを受けなければならない。

4.3.2 各クルーは、各スペシャルステージを 2 回走行することができる。但し、同じ区間を重複使用するスペシャルステージは 1 つのステージとして 1 ヶ所で 2 回までの走行とする。

4.3.3 レッキの間、競技者は交通法規を遵守しなければならない。さらに特別規則書や公式通知で通知されるオーガナイザーのいかなる指示にも従わなければならない。いかなる場合も、他の道路使用者の安全と権利を尊重しなければならない。オフィシャルはレッキのルート上で競技車の動作を目視または計測機器・写真・ビデオ等によって監視することがある。すべての違反は大会審査委員会に報告され、スタート不可までの罰則を科す場合がある。

4.3.4 レッキ中スペシャルステージおよびすべての道路において法定速度を超えてはならない。これに

違反した場合は大会審査委員会によって罰則を科する。

4.3.5 レッキ用タイヤ

レッキに競技用タイヤを使用する場合は5分山以下のタイヤのみ許される。エンジンオイルパンを保護するアンダーガードを装着していない車両については、その限りではない。

5. タイヤおよびホイール

5.1 タイヤ

国際クラス：

タイヤの使用本数制限を行わない。タイヤマーキングは行わない。

全日本選手権クラス：

本競技会で使用できるタイヤの本数は14本までとする。

本競技会では、使用する全てのタイヤのサイドウォールに競技車両番号をマーキングする。併せてスペアタイヤについてはトレッド面にもマーキングを施すものとする。なお、当該競技会中における未使用のタイヤについては、技術委員長の許可を得る事により、新たにマーキングされた他のタイヤへの交換が許される。

オープンクラス：

タイヤの使用本数制限を行わない。タイヤマーキングは行わない。

詳細は本規則 15 条に示す。

5.2 ホイールサイズ

国際クラスおよびオープンクラス：

各車両規定に従う事。

全日本選手権クラス：

装着するホイールは、車両のクラス区分に従って定められる下記の最大直径および最大幅とする。

クラス 1 (JN-1)：FIA 国際モータースポーツ競技規則 J 項第 260、261 条 801 項に従うこと

クラス 2 (JN-2)：最大直径 18 インチ 最大幅 8.5 インチ

クラス 3 (JN-3)：最大直径 18 インチ 最大幅 7.5 インチ

クラス 4 (JN-4)：最大直径 18 インチ 最大幅 7.5 インチ

クラス 5 (JN-5)：最大直径 18 インチ 最大幅 7 インチ

環境対応クラス (JN-X)：最大幅 8 インチ

6. 参加車両及び安全装備

6.1 国際クラス：

本規則書 3.5 条「国際クラス」の定義に合致する車両。

全日本クラス：

2025 年日本ラリー選手権規定 第 7 条に従った車両。

オープンクラス：

本規則書 15 条に合致する車両。

6.2 正規の自動車登録番号票が交付されており、自動車検査証及び自賠責保険証を有していること。または、「自動車カルネおよび登録証書」を有する車両、あるいは運行目的が「ラリー競技会への参加」

である臨時運行許可証および番号標を有する車両。

- 6.3 排気ガス(ガソリン車：CO、HC、ディーゼル車：黒煙)、排気音が各車両規定の規定値を満たしていること。
- 6.4 国際クラス及び全日本クラス（JN-1のみ）：
クルーはFIA 国際モータースポーツ競技規則 付則L 項 第3章に従った装備品を着用する事。
全日本（JN-1を除く）およびオープンクラス：
クルーは、2025年国内競技車両規定 第5編 細則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則に従ったヘルメット、FHR システム及びレーシングスーツを着用すること。さらに、6点式以上のFIA 公認シートベルトを保持装備すること。
- 6.5 参加車両には非常用三角停止表示板(三停板)2枚、非常用信号灯、牽引用ロープ、救急薬品、OK/SOSカード、各車両規定に従った消火器を搭載すること。
- 6.6 日本国内で使用が認められている携帯電話およびトラッキングシステム以外の無線装置の車両持ち込み、装備を禁止する。

7. 広告及びラリープレートと識別

- 7.1 ウインドウ、屋根を含む車体への広告及び装飾の貼り付けは法律が認める範囲で許される。但し2025年FIA 地域ラリー競技規則 29.1条及び以下の内容を守らなければならない。
- ・ 他者を不快にさせるものであってはならない。
 - ・ その本質が政治的または宗教的なものであってはならない。
 - ・ 主催者が指定するラリープレートや車両番号、クルー氏名を誤認させるものであってはならない。
 - ・ クルーの視界を妨げるものであってはならない。
- 7.2 任意広告
参加者は本規則書細則6に従って広告スペースを確保しなければならない。
- 7.3 ラリープレート及びゼッケン
オーガナイザーは各クルーに対しラリープレートとゼッケンパネル一式を支給する。これらは本規則書細則6に従って車両に取付けなければならない。これに違反した場合は罰金55,000円（オーガナイザーのオプション広告の場合は110,000円）を科す。
- 7.4 クルーの識別
国際クラス：
参加者は本規則書細則6に従ってクルーの名前を車両に貼付しなければならない。
全日本およびオープンクラス：
本規則書細則6においてA4として定めるクルーの名前の貼付は任意とするが、これを行う場合は2025年FIA 地域ラリー競技規則28条に従うことを強く推奨する。

8. 燃料

ラリー中の給油は、ロードブックに示されるオーガナイザー指定ガソリンスタンドにおいてのみ行う事ができる。

- 8.1 FIA 燃料及びカーボンニュートラル燃料
国際クラスは、FIA 国際モータースポーツ競技規則 付則J 項 252.9条に適合したFIA 燃料の使用が2025年ラリー北海道

認められる。また、全クラス、2025年JAF国内競技車両規則 第4編 第2条に記載のカーボンニュートラル燃料の使用が認められる。

FIA 燃料またはカーボンニュートラル燃料を使用する場合は参加申込時に申告しなければならない。FIA 燃料及びカーボンニュートラル燃料は各自で用意し、チーム員は本規則書 8.3 条に示すオーガナイザーが指定した場所まで燃料を持参しなければならない。

8.2 燃料注文

ポンプ燃料（本規則第 8.3 および 8.4 条に定める指定ガソリンスタンドにて備え付けの給油機から提供される、一般向けに販売されている燃料）を使用する場合、事前注文の必要はない。

8.3 給油場所

ラリー中の給油は、FIA 燃料・ポンプ燃料のいずれも、ロードブックに示されるオーガナイザー指定ガソリンスタンドにおいてのみ行う事ができる。なお、ゼッケン番号により異なるガソリンスタンドが割り当てられる場合がある。

燃料給油中、クーリーは車両内に留まっていたてはならない。ただし、純正燃料タンクに直接給油する場合に限り、車内で待機する事が認められる。この場合、給油作業中は安全ベルトを外してなければならない。

FIA 燃料またはカーボンニュートラル燃料を使用する場合、指定ガソリンスタンドの指定エリア内で給油しなければならない。

FIA 燃料またはカーボンニュートラル燃料を使用する場合及び、FIA 公認の燃料安全タンクを使用する車両は、チーム員 2 名までによる給油場所への立ち入りを認める。ただし、給油作業支援の目的に限り、それ以外の作業を行ってはならない。

FIA 公認の燃料安全タンクを使用する車両の給油カップリングはチーム員が運んだものを使用する事ができる。

指定ガソリンスタンド

Leg1:

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ・石橋石油 陸別店 (apollo) | 所在地：陸別町字陸別東 1 条 1-7 |
| ・YS ヤマショウ 足寄店 (ENEOS) | 所在地：足寄町南 6 条 1 丁目 22 |
| ・熱源帯広 足寄店 (ENEOS) | 所在地：足寄町南 4 条 1 丁目 2 |

Leg2:

- | | |
|---------------------|----------------|
| ・ホクレン 利別セルフ店 (ホクレン) | 所在地：池田町字利別本町 1 |
|---------------------|----------------|

8.4 公式車検後からラリースタートまでの間の給油について

ラリー前公式車検終了後からラリースタートまでの間、一般燃料を使用する参加者の給油は、下記の指定ガソリンスタンドのみで行う事ができる。

指定ガソリンスタンド

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ・スーパービット 中央店(ENEOS) | 所在地：帯広市西 8 条南 9 丁目 10 |
| ・スーパービット 緑ヶ丘店(ENEOS) | 所在地：帯広市西 8 条南 17 丁目 4 |

9. 参加確認および書類検査

指定されたスケジュールに従って公式車両検査の前に参加確認を行なわなければならない。

9.1 必要(提出)書類

- (a) エントラントライセンス(国際クラス以外で、競技運転者が参加者を兼ねる場合は不要。)
- (b) ドライバー、コ・ドライバーの競技ライセンス
- (c) ドライバー、コ・ドライバーの運転免許証。従来の運転免許証を所持せず、マイナ免許証のみ所持の場合、読み取りアプリは提出者が用意しなければならない。
(海外の運転免許証所持者は、日本で有効な運転免許証が必要)

(d) 自動車検査証

電子車検証の場合は、自動車検査証記録事項も必要。

(海外登録の車両は当該車両登録国が発行する FIA(AIT)カルネの証明書。臨時運行許可取得車両は臨時運行許可証。)

(e) 自賠責保険証書

(f) ラリー競技に有効な自動車保険証券

(g) 海外のライセンス保持者はパスポートまたは身分証明書

(h) 海外のライセンス保持者は ASN 発行の競技参加許可証又は ASN の確認印を得た参加申込書

9.2 参加確認および書類検査日程

場所・日時は本規則書 1 条「プログラム」に定める。

10. 公式車両検査・マーキング及びシーリング

全参加車両は 2025 年 9 月 4 日(木) 07 時 30 分に公式掲示板にコミュニケーションで発表されるスケジュールに従って公式車両検査を受けなければならない。スベアを含むギアボックスとディファレンシャルのマーキング、過給器付車両の過給機のシーリングも同時に行われる。

FIA 公認の燃料安全タンクを使用する車両は、給油用アダプターを提示しなければならない。

10.1 車載カメラの取り付け

車載カメラを取り付ける場合は車体の中側・外側を問わず公式車両検査までに取り付けられていなければならない。公式車検時に車検員により許可ステッカーが貼付けされる。許可の無いカメラでの撮影を禁止する。また、このカメラで撮影された映像の著作権はオーガナイザーに帰する。参加者はオーガナイザーより画像・映像の提出を求められる場合がある。

11. ラリーの進行

11.1 ラリーショー及びセレモニアルスタート

全選手は2025年9月5日(金)15時15分から駅北多目的広場および平原通りにおいて行なわれるラリーショーと、その後連続して行なわれるセレモニアルスタートに参加しなければならない。選手はレーシングスーツを着用の上、コミュニケーションにて発表されるスケジュールに基づき、オフィシャルの指示に従って指定場所に車両を移動すること。発表されたスケジュールに定められた時刻までに指定された場所に到着しなかった場合、競技長により罰金10,000円を課す。

ラリーショーは15時15分から16時55分まで開催される。ラリーショー終了後はオフィシャルの指示に従い、各車は指定場所からセレモニアルスタート会場に車両を順次移動すること。セレモニアルスタートの後、コミュニケーションの指示に従って車両をサービスパークに戻すこと。何らかの理由により車両を参加させることができない場合は、競技長の許可を受けた場合に限り、選手のみの参加とすることができる。この場合もレーシングスーツを着用すること。

11.2 ロードブックに示される「ラリーパーク」は必ず通過しなければならない (Leg1に1回のみ開催予定)。これに違反した場合には、FIA地域ラリー競技規則第19.2条及びスペシャルステージラリー開催規定第33条5.の定めに従って審査委員会に報告され、罰則が科される場合がある。

11.3 暫定表彰式

暫定表彰式は北愛国サービスパークで行なわれる。

11.4 アーリーチェックイン

5A, 5C, 8A, 8C, 8D, 10A, 10C, 12A, 12B の TC の早着についてはペナルティの対象としない。但し、全ての区間と同様に道路交通法を遵守すること。

11.5 タイムカードの交換

タイムカードはレグの最初の TC においてクルーに手渡され、各セクションの最終 TC にて回収される。その際、同レグ内で次のセクションが続く場合には、新たなタイムカードがクルーに手渡される。

11.6 スタート前のパルクフェルメ

スタート前のパルクフェルメは設置しない。

11.7 スペシャルステージのスタートシステム

スペシャルステージのスタート合図に電気式カウントダウンシステムを使用する。また、このシステムに同調したフライングチェックシステムを使用する。スタート信号表示の説明は、本規則書細則 5 を参照のこと。システム故障の場合は、FIA 地域ラリー競技規則 48.3 に従ったスタート方法とする。

フライング検知装置の設置位置はスタートラインの先 50cm とする。

11.8 スペシャルステージのタイム計測

計測は、印字機能を持つクロノメーターにて行う。

11.9 スタート間隔

基本的にスタート順はスタートリストまたは直前の TC 通過順に従い行う。オーガナイザーが認めた車両は、2分または3分以上間隔を空けてスタートする。その他の車両は1分間隔とする。

11.10 オフィシャルタイム

全日程を通して使用する基準時刻は日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。
(GMT+9 時間)

11.11 オフィシャルの識別

ポストチーフおよびマーシャルは以下の服装により識別される。

ポストチーフ	青色のタバードに白文字
ポストマーシャル	オレンジ色のタバードに白文字
スペシャルステージコマンダー	緑色のタバードに黄色文字
SOS ラジオマーシャル	黄色のタバードに黒マーク
チーフスペクテーターマーシャル	赤色のタバードに黄色文字
スペクテーターセーフティマーシャル	赤色のタバードに白文字
セーフティマーシャル	赤色のタバードに白文字
ドクター	緑色のベストに白文字
メディカル要員	緑色のタバードに白十字
選手リレーション役員(CRO)	黄色のタバードに黒文字
技術委員	黒色のタバードに黄色文字

公式メディア
その他のオフィシャル

青色のタバードに黒文字で FIELD MEDIA
オフィシャルウェアまたはクレデンシャル

12. 車両の整備作業

12.1 競技中の車両整備は、アイテナリー並びにロードブックで定めるサービス会場で、各車両に定められたサービス時間内に行われるもののみ認められる。ただし、外部からの援助を受けることなく、クルー自らが車載の道具類のみを使用して作業を行う場合はこの限りではない（コントロールエリアおよびパルクフェルメ、ニュートラリゼーション等、規則によりパルクフェルメ規則や車両に対する作業の禁止の適用下にある場合は除く）。

サービス会場：北愛国サービスパーク及び陸別サービス

12.2 整備作業の監督を担当する競技役員

技術委員長： 石川 和男

12.3 車両整備の範囲

サービスパークでの車両整備の範囲は下記の通りとする。

- (1) タイヤの交換
- (2) ランプ類のバルブの交換
- (3) 点火プラグの交換
- (4) V ベルトの交換
- (5) 各部点検増締め
- (6) 上記以外に作業員の安全を十分確保することを条件に、競技会技術委員長が許可した項目

12.4 サービスカーの管理方法

サービス会場に乗り入れることができるサービスカーは事前登録制とする。登録したサービスカーにはオーガナイザーより配布されるサービス車両通行証を、大会期間中を通して貼り付けておく。なお、1枚の通行証を複数の車両で共有することを固く禁ずる。登録したサービスカーは、サービス会場の内部では必ず、自らに割り当てられたサービススペース内、または一般駐車場内に留め置かなければならず、通路等への駐車は固く禁じる。

違反は競技長に報告され、競技長により違反行為を行った参加者に対し、罰金やパス及び通行証の没収等の処分が下される場合がある。

13. 賞典

国際クラス：

- 総合成績 第1位 トロフィーまたは楯、副賞
第2位 トロフィーまたは楯、副賞
第3位 トロフィーまたは楯、副賞

クラス表彰 各クラス第1位 トロフィーまたは楯、副賞

全日本選手権クラス：クラス表彰

- JN-1クラス：1～3位 JAF 楯、トロフィーまたは楯、副賞 4～6位 トロフィーまたは楯、副賞
JN-2クラス：1～3位 JAF 楯、トロフィーまたは楯、副賞 4～6位 トロフィーまたは楯、副賞
JN-3クラス：1～3位 JAF 楯、トロフィーまたは楯、副賞 4～6位 トロフィーまたは楯、副賞
JN-4クラス：1～3位 JAF 楯、トロフィーまたは楯、副賞 4～6位 トロフィーまたは楯、副賞
JN-5クラス：1～3位 JAF 楯、トロフィーまたは楯、副賞 4～6位 トロフィーまたは楯、副賞

JN-X クラス : 1~3 位 JAF 楯、トロフィーまたは楯、副賞 4~6 位 トロフィーまたは楯、副賞
 オープンクラス : クラス表彰

XC-1 クラス : 1~3 位 トロフィーまたは楯、副賞

XC-2 クラス : 1~3 位 トロフィーまたは楯、副賞

XC-3 クラス : 1~3 位 トロフィーまたは楯、副賞

OP-1 クラス : 1~3 位 トロフィーまたは楯、副賞

※ 但し、JAF 楯を除き表彰対象者数は当該クラス参加台数の 30%を下回らない範囲で賞典の制限を行なう場合がある。その場合の対象者数は公式プログラムに記載する。

14. 再車検及び抗議

14.1 再車検

再車検には、当該車両のクルー、メカニック又はチーム員が立会わなければならない。

場所: 北愛国サービスパーク (車検エリア)

日時: 本規則書第 1 条に定める。

14.2 抗議料 (国際クラス・全日本選手権クラス・オープンクラス)

参加者は、自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第 12 条に従い、抗議する権利を有する。抗議料は、国際競技 (国際クラス) は 106,700 円、国内競技 (全日本選手権クラス及びオープンクラス) は 53,300 円である。

抗議が車両部位の分解および再組立を含むものである場合、その申立者が支払う保証金は全クラス 55,000 円である。

15. 選手権外オープンクラス

15.1 オープンクラスの参加資格

オープンクラスに参加するドライバー・コドライバーは参加車両を運転するのに有効な運転免許証に加え、有効な JAF 発行の 2025 年度競技運転者許可証の国内 B 以上、または本大会に有効な国際競技運転者許可証を保有していること。

15.2 クラス区分

オープン XC1, 2, 3 (XC-1, XC-2, XC-3) :

JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に定める RF 車両の安全装備を満たし、かつ「2025 年 XCR スプリントカップ北海道シリーズ規定」を満たした車両。

オープン 1 (OP-1) :

JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に準じた安全規定を満たした車両で、6 点式+左右のドアバー以上のロールケージを装着した車両。

15.3 タイヤ

オープン XC-1、XC-2、XC-3 クラスの使用タイヤは「2025 年 XCR スプリントカップ北海道シリーズ規定」に示すタイヤに限定する。これ以外のタイヤを希望する場合は主催者に確認し承認を得る事。

オープン 1 クラスは、タイヤ本数および銘柄の指定を行わない。

16. その他

16.1 本競技会はドライバーズブリーフィングを行わない。クルーに対する指示事項が生じた場合は、公式通知にて発表する。

16.2 リスタート（再出走）

リスタートについて、国際クラスに関しては FIA 地域ラリー規定 54 条に、全日本選手権クラスおよびオープンクラスは 2025 年全日本ラリー選手権統一規則第 13 条に従う。

リスタートの際の車両の再検査の時間は本規則書第 1 条に従う事。

リスタートを希望する参加者は、書面でなくてもかまわないので、リスタートの意志を大会事務局に連絡すること。

16.3 ラリー競技開催規定に関するコントロールの手順と機能、コントロールのスタート時刻、スペシャルステージラリーの運営、統一書式等については 2025 年 FIA 地域ラリー競技規則に定められた方法にて行う。

なお、スペシャルステージ内にて停止した際、OK/SOS カードを何かしらの理由で提示できない場合には、全クラスとも可能な限り FIA 地域ラリー競技規則 53.3.5 に従ったジェスチャーを行う事。正当な理由なくいずれをも行わなかったクルーについては審査委員会に報告される。

トラッキングシステムを併用していた場合、システム上で発報を行った場合でも、この提示又はジェスチャーは行わなければならない。

17. 本規則の解釈

本規則及び競技に関する諸規則の解釈についての疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定をもって最終とする。

細則 1 アイテナリー

* 本細則のアイテナリーは予定であり、変更となる場合がある。その場合は公式通知にて告知する。

Itinerary						
Int'l JRC						
Start Leg 1 Saturday 6 September 2025						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
0	Start Leg 1 - (Kita Aikoku)					6:00
1			84.70	84.70	1:36	7:36
SS1	PAWSE KAMUY SHORT 1	9.47				7:39
2			29.48	38.95	0:52	8:31
SS2	RIKUBETSU LONG 1	4.63				8:34
RA	Remote Refuel - Rikubetsu-Ishibashi Gas Station (apollo)		[1.59]			
1	Distance to next refuel	(33.00)	(69.82)	(102.82)		
3			13.05	17.68	0:37	9:11
SS3	YAM WAKKA REVERSE 1	23.53				9:14
4			32.23	55.76	1:12	10:26
SS4	PAWSE KAMUY SHORT 2	9.47				10:29
RA	Remote Refuel - Rikubetsu-Ishibashi Gas Station (apollo)		[26.13]			
2	Distance to next refuel	(28.16)	(26.87)	(55.03)		
5			29.22	38.69	1:01	11:30
SS5	RIKUBETSU LONG 2	4.63				11:33
5A	Regroup and Technical zone IN		0.20	4.83	0:07	11:40
5B	Regroup and Technical zone OUT Service IN					
	Flexi-Service A (Rikubetsu)	(51.73)	(188.88)	(240.61)	0:20	
5C	Service OUT - Regroup IN					
5D	Regroup OUT					12:30
6			12.72	12.72	0:20	12:50
SS6	YAM WAKKA REVERSE 2	23.53				12:53
RA	Remote Refuel - Rikubetsu-Ishibashi Gas Station (apollo)		[10.86]			
3	Distance to next refuel	(14.10)	(86.81)	(100.91)		
7			32.32	55.85	1:22	14:15
SS7	PAWSE KAMUY SHORT 3	9.47				14:18
8			29.48	38.95	0:52	15:10
SS8	RIKUBETSU LONG 3	4.63				15:13
RA	Remote Refuel - Ashoro-YS Yamasho / Netsugen-Obihiro Gas Station (ENEOS) [35.87]					
4	Distance to next refuel	(0.50)	(99.82)	(100.32)		
8A	Regroup and Technical zone IN		101.64	106.27	2:25	17:38
8B	Regroup and Technical zone OUT Service IN					
	Flexi-Service B (Kita Aikoku)	(37.63)	(176.16)	(213.79)	0:45	
8C	Service OUT					
8D	Parc Ferme IN		0.04	0.04	0:03	
All cars must be returned to Parc Ferme no later than						21:02
Note 1 : At the 20 min service, crew have a maximum of 25 min to move their cars into the Service Park.						
Note 2 : At the 45 min service, crew have a maximum of 50 min to move their cars into the Service Park.						
Leg 1 Total		89.36	365.08	454.44		

Section 1

Section 2

Itinerary						
Start Leg 2						
Sunday 7 September 2025						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
Start Leg 2 (Kita Aikoku Service Park)						
8E	Parc Ferme OUT					7:00
8F	Service IN		0.07	0.07	0:03	7:03
Service C (Kita Aikoku)		(0.11)	(0.11)		0:15	
8G	Service OUT					7:18
9			28.12	28.12	0:42	8:00
SS9	SSS IKEDA 1	0.50				8:03
RA	Remote Refuel - Ikeda-Hokuren Gas Station (HOKUREN)		[5.82]			
5	Distance to next refuel	(12.74)	(130.63)	(143.37)		
10			23.41	23.91	0:52	8:55
SS10	OTOFUKE REVERSE 1	6.12				8:58
10A	Regroup and Technical zone IN		30.76	36.88	0:50	9:48
10B	Regroup and Technical zone OUT					
	Service IN					
Flexi-Service D (Kita Aikoku)		(6.62)	(82.29)	(88.91)	0:20	
10C	Service OUT - Regroup IN					
10D	Regroup OUT					10:38
11			28.08	28.08	0:52	11:30
SS11	SSS IKEDA 2	0.50				11:33
12			23.41	23.91	0:40	12:13
SS12	OTOFUKE REVERSE 2	6.12				12:16
12A	Service IN		30.79	36.91	0:46	13:02
Service E (Kita Aikoku)		(6.62)	(82.28)	(88.90)	0:10	
12B	Service OUT - Finish-Holding IN					13:12
	Podium Finish				0:15	13:27

Note 1 : At the 20 min service, crew have a maximum of 25 min to move their cars into the Service Park.

Leg 2 Totals	13.24	164.64	177.88
---------------------	--------------	---------------	---------------

TOTALS OF THE RALLY				
	SS	Liaison	Total	%
Leg 1(Section 1,2) - 8SS	89.36	365.08	454.44	19.66
Leg 2(Section 3,4) - 4SS	13.24	164.64	177.88	7.44
Total - 12SS	102.60	529.72	632.32	16.23

20250625_ver2.1

Section 3

Section 4

細則 2 レッキスケジュール

9月4日 (木曜日)

Group A

ステージオープン時間	ステージ名	ステージ No.	コメント
10:30 ~ 13:00	RIKUBETSU LONG	SS2 / SS5 / SS8	2回走行
10:50 ~ 13:20	YAM WAKKA REVERSE	SS3 / SS6	2回走行
13:10 ~ 15:40	PAWSE KAMUY SHORT	SS1 / SS4 / SS7	2回走行
15:00 ~ 17:50	SSS IKEDA	SS9 / SS11	2回走行
15:50 ~ 18:20	OTOFUKE REVERSE	SS10 / SS12	2回走行

Group B

ステージオープン時間	ステージ名	ステージ No.	コメント
09:10 ~ 10:40	OTOFUKE REVERSE	SS10 / SS12	2回走行
10:30 ~ 13:00	PAWSE KAMUY SHORT	SS1 / SS4 / SS7	2回走行
12:00 ~ 14:30	RIKUBETSU LONG	SS2 / SS5 / SS8	2回走行
12:20 ~ 14:50	YAM WAKKA REVERSE	SS3 / SS6	2回走行
15:30 ~ 18:00	SSS IKEDA	SS9 / SS11	2回走行

細則 3 CRO の氏名及び行動予定



酒井 紀之

Mobile: 090-3018-7927

Email: cro@rally-hokkaido.com

コンペティター・リレーションズ・オフィサーの行動スケジュール
下記のスケジュールの他に携帯電話によりラリー中はいつでも連絡をとることができる。

9月5日(金)

公式車検場 (北愛国サービスパーク)

08:00-13:30

セレモニアルスタート(帯広駅前)

16:30-18:00

9月6日(土)

スタートエリア(TC0)

05:50-07:40

陸別サービス

11:00-13:00

9月7日(日)

サービスアウト(TC8G)

06:50-08:50

サービスパーク

09:30-11:30

フィニッシュエリア

13:00-14:20

* 行動予定は変更になる場合があります。

細則 4 HQ レイアウト、サービスパークレイアウト

後日、発表する。

細則 5 スタートシグナルのシーケンス

45秒前 5個の赤色ランプが点灯



30秒前 4個の赤色ランプが点灯



15秒前 3個の赤色ランプが点灯



10秒前 2個の赤色ランプが点灯



5秒前 1個の赤色ランプが点灯



4秒前 2個の赤色ランプが点灯



3秒前 3個の赤色ランプが点灯



2秒前 4個の赤色ランプが点灯



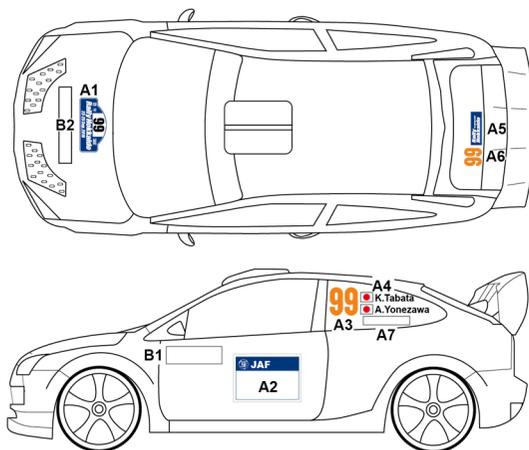
1秒前 5個の赤色ランプが点灯



START 2個の緑色ランプが点灯
(20秒間)



細則 6 ゼッケンおよび広告、識別



以下のラリープレート、ゼッケン、広告ステッカーはオーガナイザーにより用意される(A4 を除く)。それらは上記の図の通り貼付されなければならない。

- A1 ボンネットに幅 43cm X 高さ 21.5cm のラリープレート 1 枚
- A2 両側フロントドアパネルに幅 42.0 cm X 高さ 29.7cm の JAF ゼッケンを各 1 枚。
- A3 左右リアサイドウィンドウの上部に高さ 20cm のゼッケン番号。
- A4 リアの両サイドウィンドウのゼッケン番号の付近にドライバーとコ・ドライバーの名前(両サイドともドライバー名を上配置)とライセンスを取得した ASN の国旗。名のイニシャルと苗字の頭文字を大文字で残りを小文字で示す事。高さ 6cm(大文字)で線幅 1.0cm を基本とする。
(A4 は各自で用意し、2025 年 FIA 地域ラリー競技規則 28 条に従って貼付ける事。オーガナイザーから配布は行わない)
- A5 リアウィンドウの中央底部に幅 30cm X 高さ 10cm のリアプレート 1 枚。
- A6 リアプレートに並べて高さ 14cm のゼッケン番号を貼付ける。
- A7 左リヤサイドウィンドウに「JAF 公認ラリー競技会之証」1 枚。

- B1 オーガナイザーのオプション広告: wuerth (幅 45cm X 高さ 10cm) 左右に各 1 枚
- B2 オーガナイザーのオプション広告: RECARO (幅 60cm X 高さ 10cm) ボンネットに 1 枚

オーガナイザーのオプション広告を拒否する場合、追加料金 110,000 円 (税込み) を課す。

細則 7 スーパースペシャルステージ

以下の SS をスーパースペシャルステージ(SSS)として行う。

SS9 SSS IKEDA 1、SS11 SSS IKEDA 2

スーパースペシャルステージは以下のように実施する。

1. ラリー競技開催規定 細則：スペシャルステージラリー開催規定 第 28 条「スペシャルステージ」6. 2)のカウントダウンは 15 秒前より行う。
2. ステージ内走行車両は基本 1 台とし、前走車が自車のスタート時刻にフィニッシュしていない場合、および衝突などによるコースの処理が終了していない場合は、オフィシャルの判断によりスタート時刻を遅らせる場合がある。
3. ステージ内で障害物に接触したとオフィシャルが判断した場合、ペナルティとして 60 秒を実際の走行タイムに加算する。但し、次の 4. あるいは 5. に該当する場合においては、与えられたタイムへの加算は行わないこととする。
4. 競技長は、競技車両が正規のコースから離脱もしくはショートカットを行ったとみなした場合はステージタイムとして 180 秒を与える。
5. 競技車両がステージ内で何らかの理由で停止した場合、当該車両をオフィシャルによって STOP ポイント先まで移動する。当該車両はステージをフィニッシュしたものとみなされステージタイムとして 180 秒が与えられる。ただし、当該クルーがリタイヤを宣言した場合は除く。
6. 著しくホコリが酷い場合、競技長の判断により競技途中でもコース内に散水を行う場合がある。この散水による条件の変化に関する抗議は認めない。

細則 8 サービス

以下のサービスをフレキシサービスとして行う。

Service A、Service B、Service D

フレキシサービスは FIA 地域ラリー競技規則 第 59 条及びその V4 第 57 条ならびに 59 条に準じて実施する。本大会での具体的な手順は以下の通りとする。

- 1.1 フレキシサービスの前後にリグループが置かれる。フレキシサービス前のリグループへの入場は通常のタイムコントロールでのチェックインと同様の手順で行う。
- 1.2 クルーはフレキシサービスの前に置かれるリグループに入場する。 クルーは競技車両でサービスパークに入場することも、リグループに車両を置いたまま徒歩で入場することもできる。
- 1.3 フレキシサービスへの入場およびフレキシサービスからの退場における、競技車両の移動とそれに伴うタイムコントロールへのチェックインは、クルーの代わりに、参加者に認められた代理人が行うこともできる。クルー又はこの代理人は 競技車両をリグループからサービスパークへ、そしてその後にサービスパークからリグループへ自走によって移動する。この際、タイムカードの提出手順を守ることとし、関連するペナルティのルールも適用される。
- 1.4 フレキシサービスインのタイムコントロールへのチェックインのターゲットタイムは指定されないため、早着・遅着のペナルティが課されることはない。
- 1.5 フレキシサービスアウトのタイムコントロールへのターゲットタイムはアイテナリーで指定され、フレキシサービスインの実際のチェックイン時刻を基準に時刻が定められる。
- 1.6 フレキシサービス前に車両が再始動できず、自らの動力でリグループからサービスエリアに移動できない場合は、マーシャルやチーム員が車両を押し、または牽引して割り当てられたサービスベイに移動することが認められる。
- 1.7 定められたフレキシサービスのターゲットタイムが経過する前に、サービスパークからリグループに競技車両を移動することができる。この場合、サービスアウトのタイムコントロールにおける早着のペナルティは科されない。